

12/3 イルミネーション点灯式



3日にポケットパークもいわ(町商工会茂岩支部主催 写真上)、6日に豊頃駅前(同豊頃支部主催 写真下)でイルミネーションの点灯式が行われました。各点灯式では、茂岩保育所や大津保育所、地域の子どもたちや保護者らが集まり、カウントダウンの後スイッチが押されました。



一斉にイルミネーションが光り輝く様子に、子どもたちは歓声を上げて喜んでいました。イルミネーションは2月末まで楽しめます。

12/7 茂岩保育所で「もちつき会」



茂岩保育所で毎年恒例の『もちつき会』が行われ、大勢の親子がもちつきを楽しみました。

蒸かされたもち米をお父さん方が良い具合までまとめると、子どもたちは小さな手できねを握りしめ、保護者と一緒にもちつきを体験しました。

大きな声で「よいしょ、よいしょ」とかけ声をかけながらもちつきを体験をした後は、保護者らに教わりながら、子どもたち自ら小さな団子にして分け、きな粉や砂糖しょうゆなどの味付けをして、美味しくいただきました。

たくさんできた団子に子どもたちは終始笑顔で今年最後の保育所での行事を楽しんでいました。

12/13 第42回観光写真展



観光写真展(町観光協会 主催)の審査会および表彰がえる夢館会議室で開かれました。写真家の宮本昌幸氏を招き講評が行われ、出品された23作品の中から9作品が選ばれました。

作品は、える夢館はるにれ通りで1月8日まで展示されます。受賞者は以下のとおりです。

▶推薦(豊頃町長賞)「大津の空」猪狩國男▶特選一席(豊頃町観光協会賞)「ジュエリーアイス波飛沫」高木皓▶特選二席(豊頃町議会議長賞)「夜明け前」平野武美▶準特選一席(豊頃町教育長賞)「十勝川の霧発生」榎木敬子▶準特選二席(豊頃町商工会賞)「小春日」福井美枝子▶準特選三席(豊頃町文化協会賞)「ジュエリーアイス」猪狩徳子▶入選(帯広信金豊頃支店賞)「はるにれの春」山本馨、「退く波」福井一浩、「晩夏のはるにれ」今野裕

12/19 トヨッピーサンタからクリスマスプレゼント



町内にある小・中学校、保育所やわんぱく広場にて、トヨッピーふくし絵本・夢☆運ぶトヨッピーサンタ事業(豊頃町社会福祉協議会主催)が行われました。毎年行われているこの事業はトヨッピーがサンタコースとなって、歳末たすけあい募金の配分金から絵本などを子どもたちへプレゼントするものです。19日は茂岩保育所で保育所の子どもたちとわんぱく広場に参加している子どもたちへ、トヨッピーから一人一人にプレゼントが手渡されました。プレゼントは干支であるねずみの着ぐるみを着たトヨッピーが描かれたミニタオルなどのセットで、受けとった子どもたちは「ありがとう」と元気よく伝えていました。

12/1 大津漁港で大漁まつり開催



大津漁業協同組合1階荷捌所で、第16回大津港大漁まつり(主催:大津港大漁まつり実行委員会、協賛:豊頃町・浦幌町・大津地域マリビジョン協議会)が開催されました。大津港で水揚げされた新鮮な海の幸を目当てに、朝早くから非常に多くの買い物が会場を埋めつくしました。

会場では浜茹で毛ガニやししゃも、ほっき貝、つぶの直売に長蛇の列ができるなど、オープンと同時に用意された海産物が飛ぶように売れていきました。また、ステージショーやカジカ等をつかった旬のおさかな鍋も好評で、12月の寒さで冷えきった来場者の体を暖めました。

12/2 豊頃中学校で東京学芸大学教授による特別授業



地域振興の一環として進めている大学連携において、鉄矢悦朗教授(国立大学法人東京学芸大学)を講師に招いて豊頃中学校で特別授業が行われました。全中学生を対象に体育館で行われた授業では、コミュニケーションを取りながら、新聞紙を使って立体的な構造体を作るというもので、全学年が混ざり合った6グループで作業を行い、構造体の骨組みとなる新聞紙で支柱を作り構造体を作り上げていきました。鉄矢教授は「作業をするには、技術的なことばかりではなく、相手に快く作業をしてもらうための思いやりも必要」だと話し、コミュニケーションの大切さを作業を通じて伝えました。

11/20 中学生の税の作文で表彰



軍司一冨さん(3年生)が、全国納税貯蓄組合連合会および国税庁が実施する、令和元年度第53回中学生の「税についての作文」において十勝池田税務署長賞を受賞し、豊頃中学校校長室において、佐々木十勝池田税務署長から直接、賞状を手渡されました。税の作文は、租税教育の一環として行われているもので、日常体験した税に関わることについて感じたことなどを作文にすることで、税知識の普及を目的としています。

12/3 PTA親子講演会で脳卒中を学ぶ



豊頃中学校で授業参観日にPTA親子講演会が行われました。親子講演会では、西尾明正北斗病院副院長を招いて脳卒中について学びました。西尾副院長は、脳の構造から脳卒中の症状、できるだけ早く治療にあたることの大切さについてわかりやすく説明していました。また高齢者が脳卒中をおこしやすいということもあり、孫世代にあたる中学生から注意喚起をしてほしいと話していました。

12/6 人権作文コンテストと人権教室



佐藤怜風さん(2年生)が、令和元年度全国中学生人権作文コンテスト十勝地区大会において努力賞を受賞され、豊頃中学校校長室で豊頃町人権擁護委員の鳥宮慶法さん、津久井淑恵さん、中野稔さんから表彰状や記念品を手渡されました。また13日には全学年へ向けて、道徳の時間に人権教育が実施されました。佐藤人権擁護委員(幕別町)を招いて授業が行われ、友人や家族、自分自身を尊重することの大切さを学びました。

広報とよころ
はるにれは見ていた

役場だより

広報とよころ
はるにれは見ていた

役場だより